

2022年度 新入社員意識調査

2022年5月26日
東京商工会議所 研修センター

調査期間 : 2022年3月30日~4月12日

調査対象 : 東京商工会議所 研修センター主催「新入社員ビジネス基礎講座」の受講者 1,010名

回答数 : 967名 (回答率 : 95.7%)

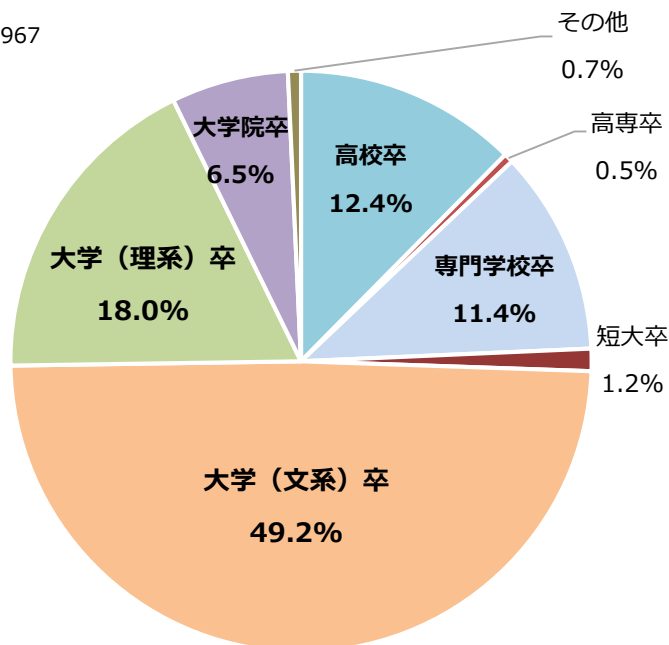
調査目的 : 新入社員の就職活動の感想、社会人生活や仕事に対する意識等を把握するため

調査方法 : Webアンケートシステムを利用

備考 : 本調査結果における構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない

訂正 : 本集計結果の③ページに記載している「順調だった」、「ほぼ順調だった」の合計値 (%) は、回答者数から算出した割合に訂正した。

学歴別回答者割合 n=967

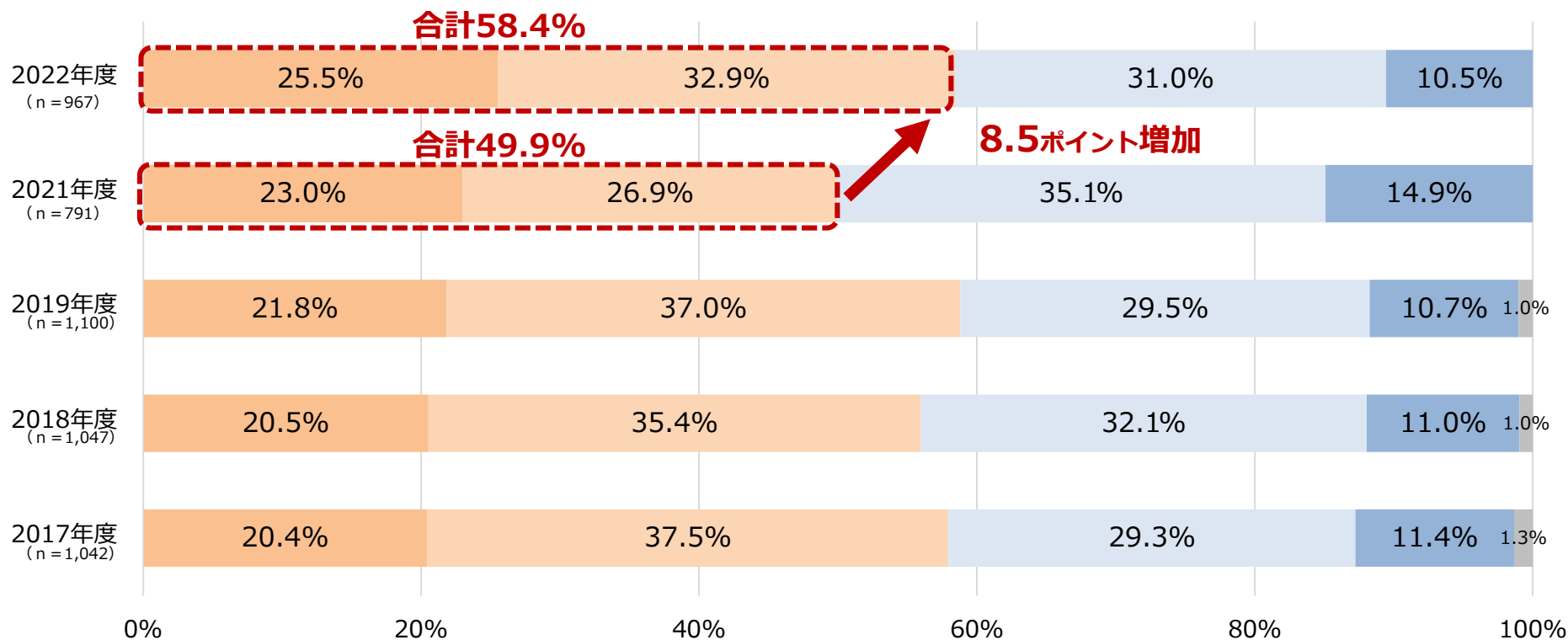


就職活動の感想（就職活動が順調だったか、全体）

- 「順調だった」、「ほぼ順調だった」と回答した割合の合計は58.4%となり、2021年度調査（49.9%）と比べて8.5ポイント増加した。2018年度調査（55.9%）、2019年度調査（58.8%）と比べても、就職活動の「順調さ」はコロナ禍以前の状況に戻っていることがうかがえる。

就職活動の感想（就職活動が順調だったか、全体）

■ 順調だった ■ ほぼ順調だった ■ やや厳しかった ■ 厳しかった ■ その他



※2020年度は本調査を実施していない。

※2021年度、2022年度調査における本設問では、「その他」の選択肢を採用していない。

※2019年度以前の調査集計結果における「その他」は「無回答」を含む。

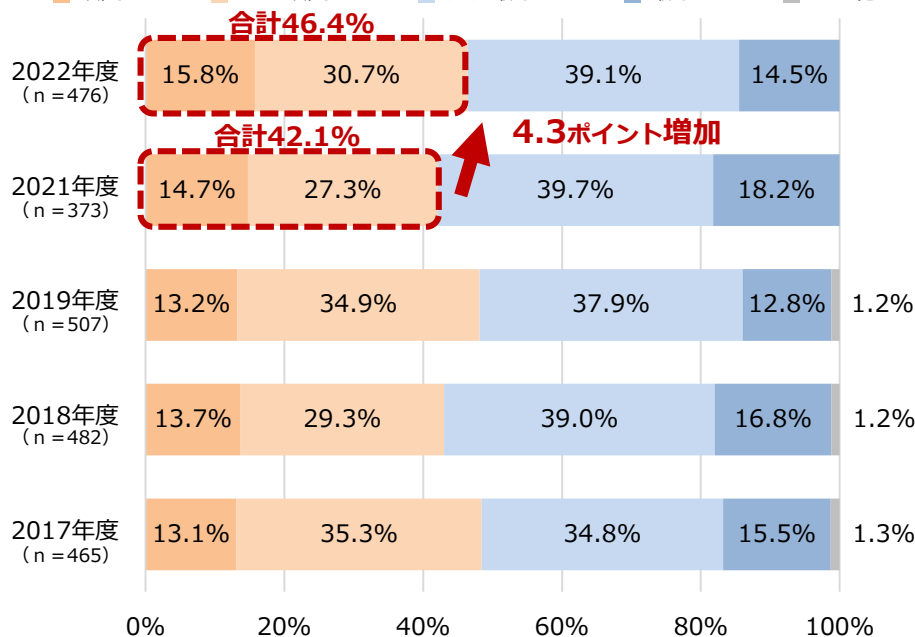
就職活動の感想（就職活動が順調だったか、大学卒）

挑みつづける、変わらぬ意志で。

- 大学（文系）卒、大学（理系）卒ともに「順調だった」、「ほぼ順調だった」と回答した割合の合計は、2021年度調査と比べて増加した。
- 大学（文系）卒は2021年度調査と比べて4.3ポイントの増加であったが、大学（理系）卒では16.0ポイント増加した。

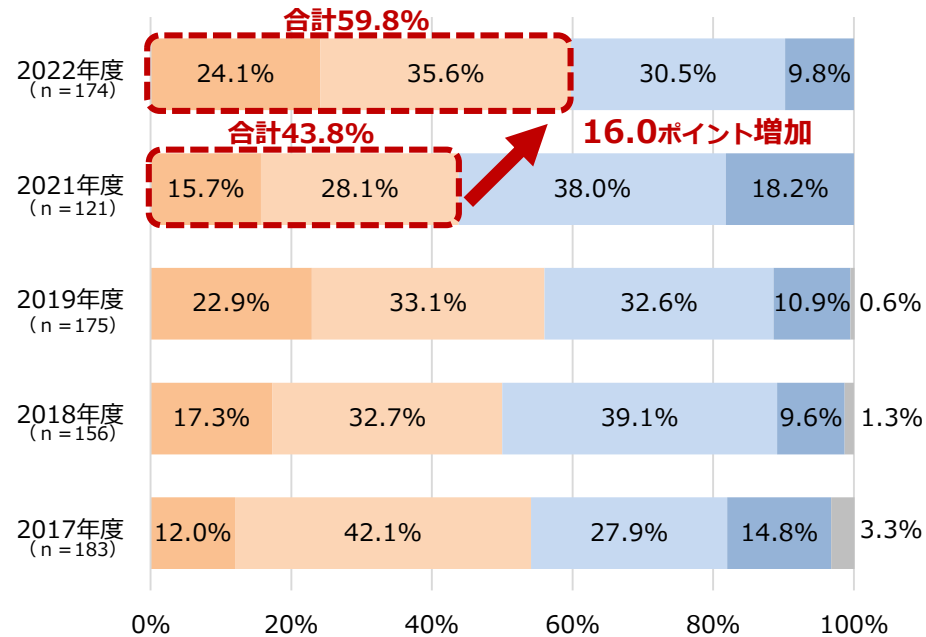
大学（文系）卒

■ 順調だった ■ ほぼ順調だった ■ やや厳しかった ■ 厳しかった ■ その他



大学（理系）卒

■ 順調だった ■ ほぼ順調だった ■ やや厳しかった ■ 厳しかった ■ その他



※2020年度は本調査を実施していない。

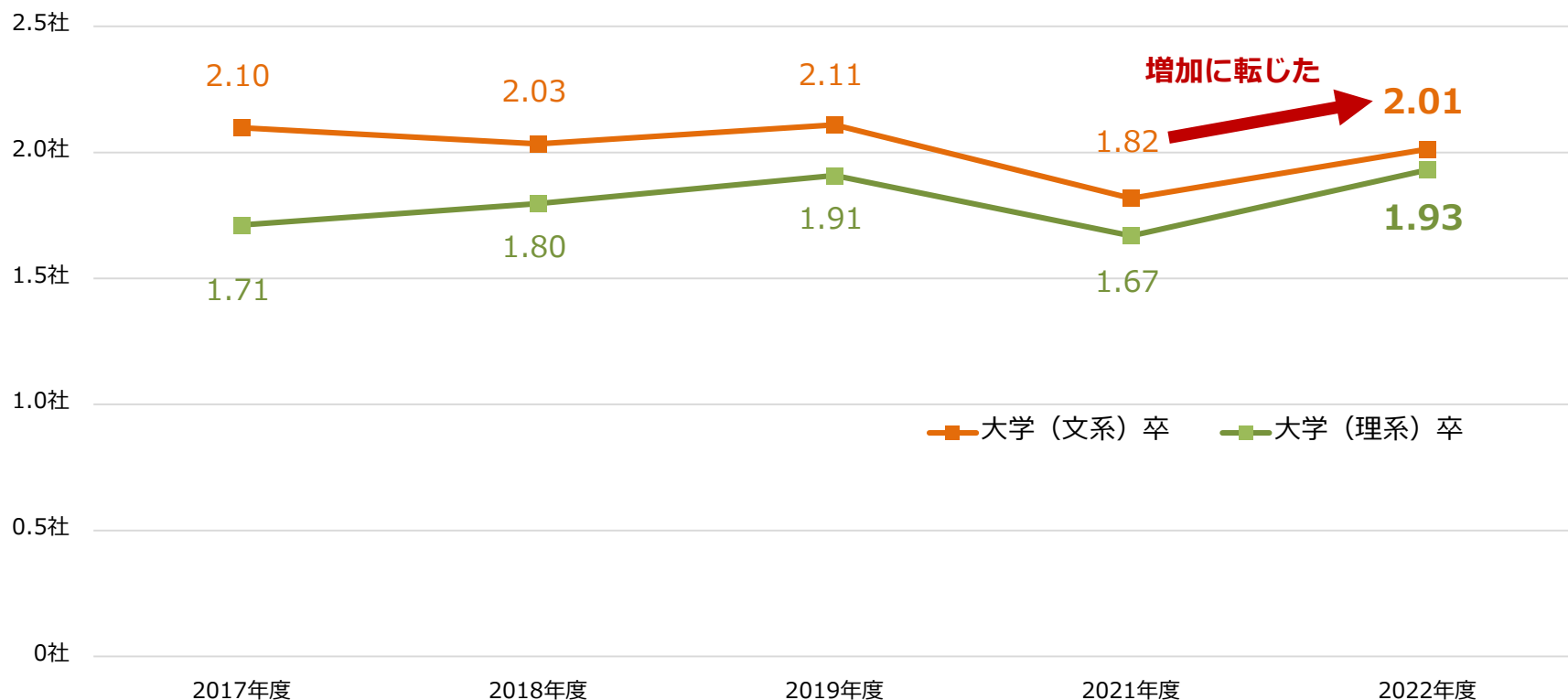
※2021年度、2022年度調査における本設問では、「その他」の選択肢を採用していない。

※2019年度以前の調査集計結果における「その他」は「無回答」を含む。

平均内定企業数（大学卒）

- 平均内定企業数（大学卒）は、2021年度調査では2019年度調査と比べて大学（文系）卒、大学（理系）卒ともに減少したが、**2022年度調査では2021年度調査と比べて大学（文系）卒、大学（理系）卒ともに増加に転じた。**

平均内定企業数（大学卒）

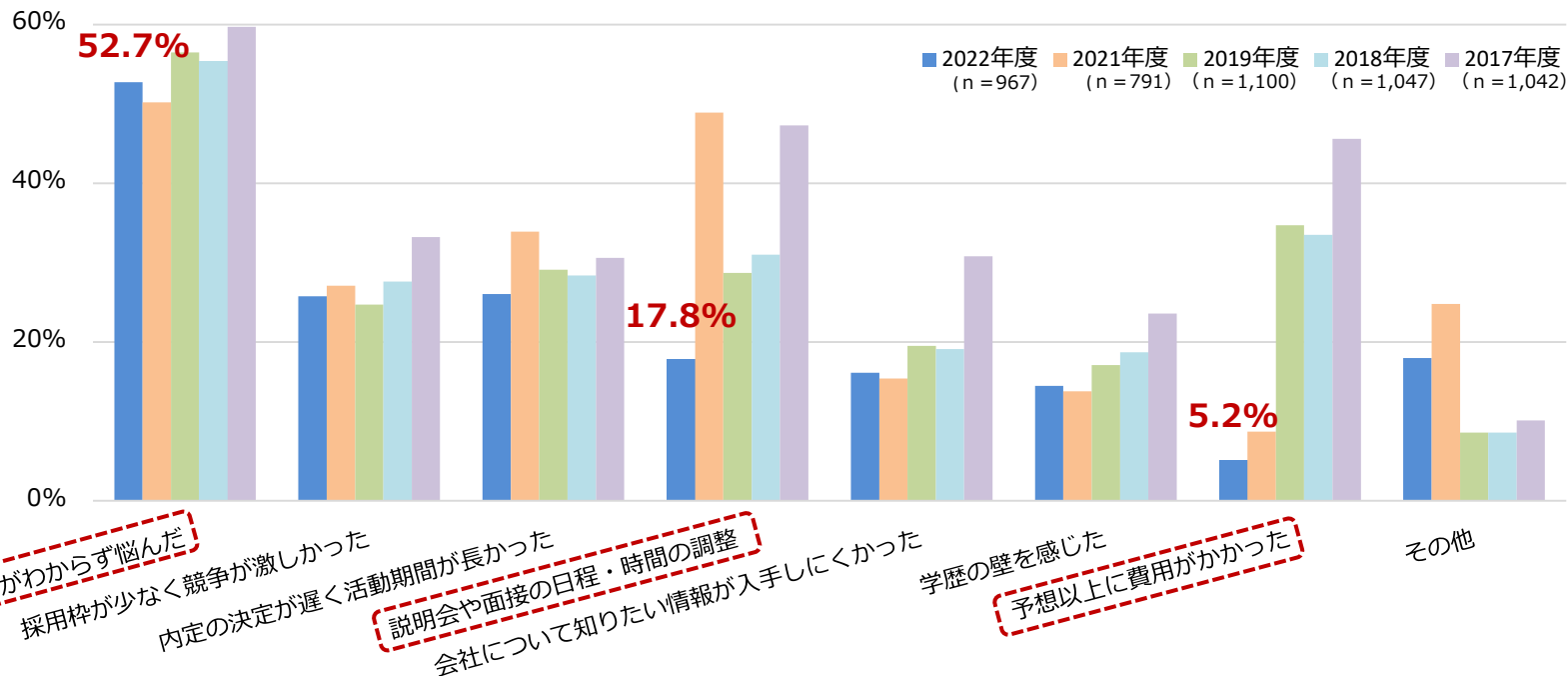


※2020年度は本調査を実施していない。

就職活動で苦勞したこと

- ・「自分のやりたいことがわからず悩んだ」が52.7%で最も多かった。
- ・2021年度調査で急増した「説明会や面接の日程・時間の調整」は17.8%となり、2021年度調査と比べて大幅に減少した。
- ・2019年度以前の調査では上位にあった「予想以上に費用がかかった」は5.2%にとどまった。

就職活動で苦勞したこと [複数回答、回答は3つまで]



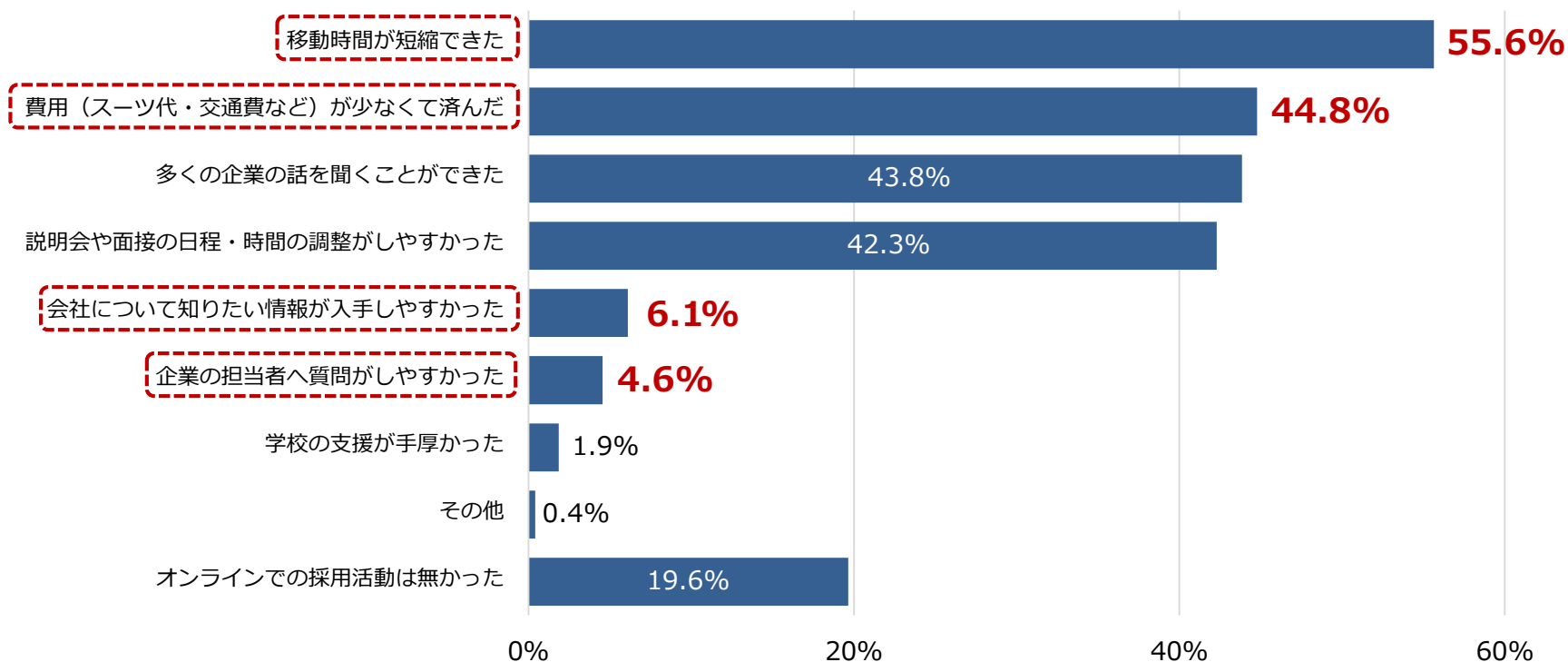
※2020年度は本調査を実施していない。

※2019年度以前の調査集計結果における「その他」は「無回答」を含む。

オンラインによる就職活動でよかったこと

- ・「移動時間が短縮できた（55.6%）」、「費用（スーツ代・交通費など）が少なくて済んだ（44.8%）」等が上位となった。
- ・「会社について知りたい情報が入手しやすかった(6.1%)」、「企業の担当者へ質問がしやすかった(4.6%)」は少数にとどまることから、オンラインによる就職活動は情報入手の面で課題があることがうかがえる。

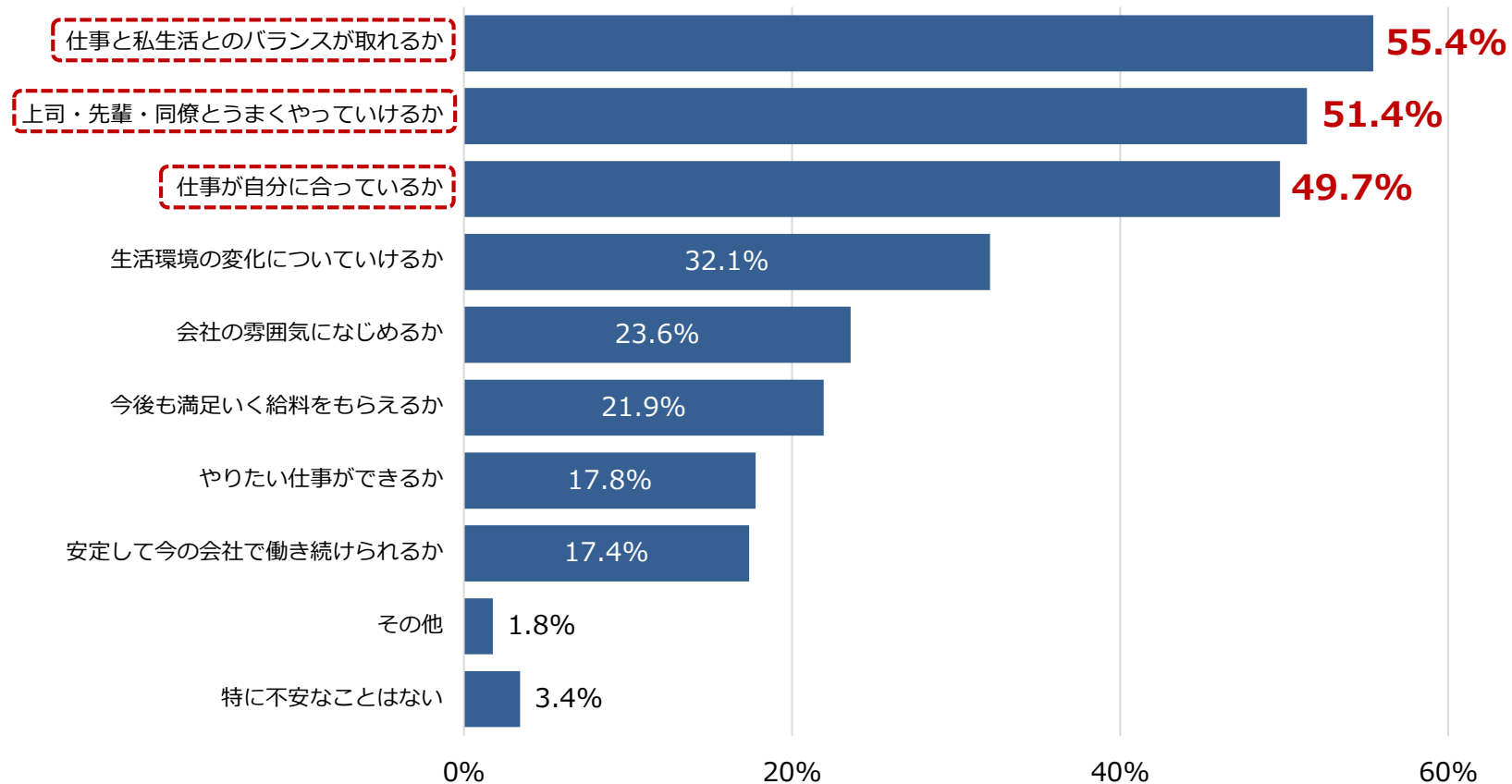
オンラインによる就職活動でよかったこと [複数回答、回答は3つまで] n=967



社会人生活で不安に感じること

- 5割前後の新入社員が「仕事と私生活とのバランスが取れるか（55.4%）」、「上司・先輩・同僚とうまくやっていけるか（51.4%）」、「仕事が自分に合っているか（49.7%）」を挙げている。

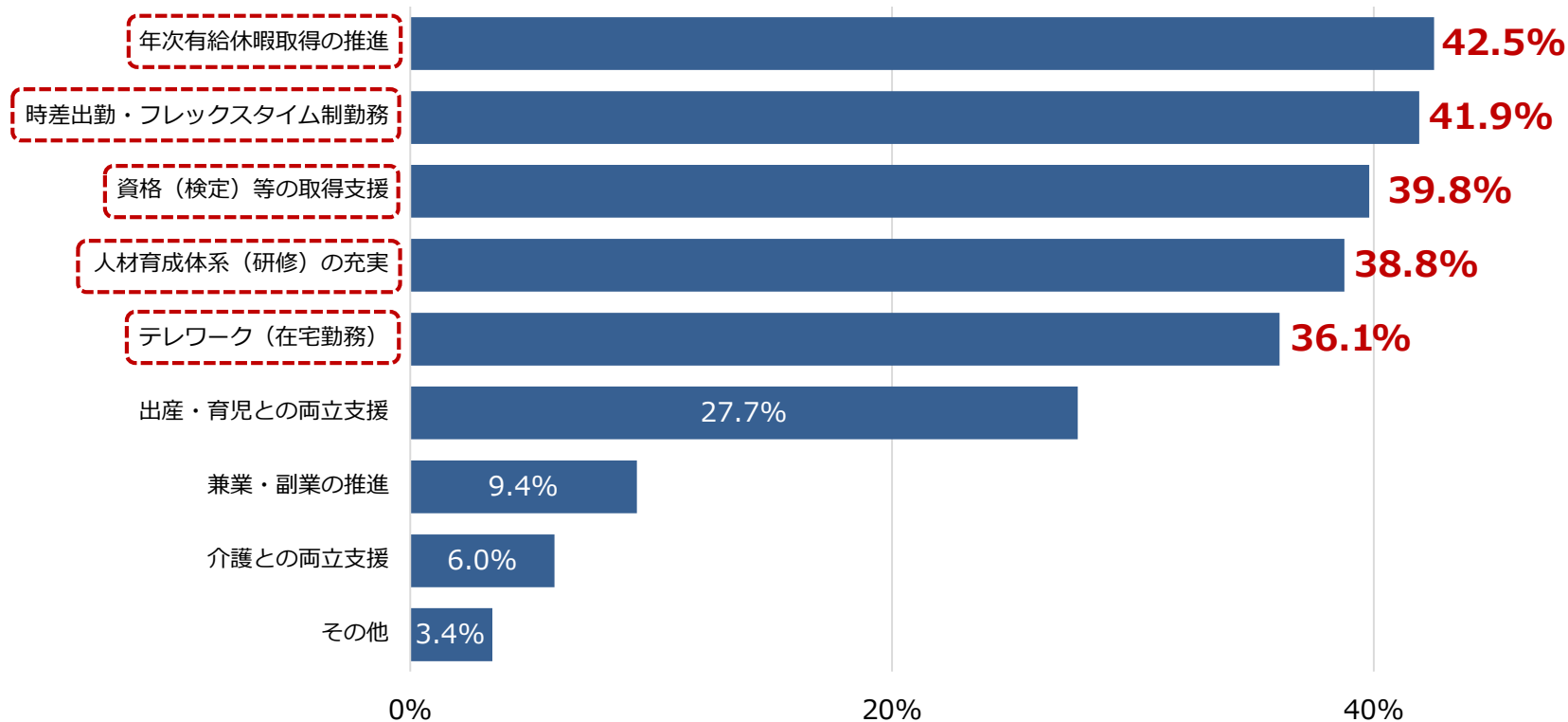
社会人生活で不安に感じること [複数回答、回答は3つまで] n=967



就職する会社を選ぶ上で魅力を感じる企業の制度

- 「年次有給休暇取得の推進（42.5%）」、「時差出勤・フレックスタイム制勤務（41.9%）」、「テレワーク（在宅勤務）（36.1%）」などの働き方に関する選択肢が上位となった。
- 「資格（検定）等の取得支援（39.8%）」、「人材育成体系（研修）の充実（38.8%）」など、入社してからの成長やスキルアップに関する選択肢も上位となった。

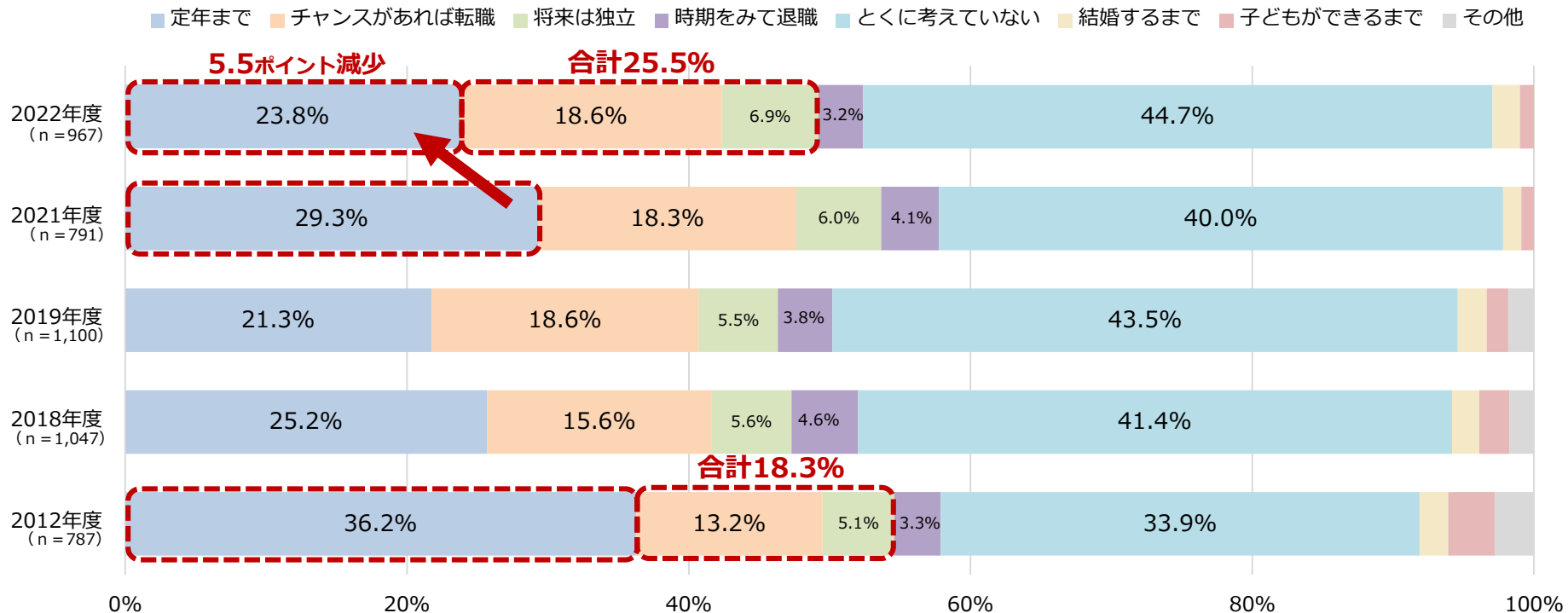
就職する会社を選ぶ上で魅力を感じる企業の制度 [複数回答] n=967



今の会社でいつまで働きたいか

- ・「定年まで」が23.8%となり、2021年度調査と比べて5.5ポイント減少した。
- ・水準を見ると、**10年前の2012年度調査との比較では、「定年まで」は12.4ポイント減少**（2012年度36.2%→2022年度23.8%）し、「チャンスがあれば転職」、「将来は独立」と回答した割合の合計は**7.2ポイント増加**（2012年度18.3%→2022年度25.5%）となり、**新入社員の意識が変化したことがうかがえる。**

今の会社でいつまで働きたいか



※2020年度は本調査を実施していない。
 ※2021年度、2022年度の本調査では、「その他」の選択肢を採用していない。
 ※2019年度以前の調査集計結果における「その他」は「無回答」を含む。

挑みつづける、変わらぬ意志で。

